

女性農業士退任 問 農政課 ☎44-0729 FAX43-3239

## 14年の活動に県知事から感謝状

7月11日に茨城県農業三士(農業経営士、女性農業士、青年農業士)の認定式および退任式が水戸市の茨城県総合福祉会館で開催され、下妻市からは女性農業士を退任した本橋ゆう子さん(もとし)が出席しました。

本橋さんは、平成16年度から女性農業士に認定され、14年の長年にわたり先進的農業経営の実践と地域の農業振興に取り組み、担い手の育成に尽力し、農業の発展に大きく貢献されました。

本橋さんからは、「もっと女性が就農しやすい環境づくりを進めていくことが大切です」と話がありました。



感謝状を手にする本橋さん

河川愛護 問 建設課 ☎45-8125 FAX43-2945

## 河川協会表彰受賞

河川功労者表彰とは、河川愛護、国際貢献、学術研究、地域振興などの観点から、広く社会に対して功績のあった個人や団体を表彰するもので、平成30年河川功労者表彰において、市内神明の赤荻昭一さん(あかお しょういち)が受賞されました。

赤荻さんは、糸繰川治水期成同盟会会長として長年にわたり河川の治水活動に尽力され、一級河川内沼川の堤防改修などに協力、一級河川糸繰川と内沼川の草刈りや清掃などの河川環境の整備に積極的に取り組み、排水水門の洪水時の開閉などを行い、河川の維持管理および災害の軽減に大きく貢献されました。



受賞を喜ぶ赤荻さん

環境美化 問 建設課 ☎45-8125 FAX43-2945

## いつまでもきれいな川に「鬼怒川・小貝川クリーン大作戦」を実施

ふるさとと鬼怒川・小貝川がいつまでも安全できれいな川になるように、「鬼怒川・小貝川クリーン大作戦」が7月14日の早朝、市内23カ所で実施されました。

本市からは、河川周辺の自治会、老人会、子ども会などを中心に96団体から約1,700人が参加。継続的な活動によって年々ごみの量は減少していますが、回収された空き缶などのごみは約20㎡にもなりました。

このクリーン大作戦は、河川愛護月間の7月第2土曜日を統一日として、堤防や河川敷に投棄されたごみを一掃する取り組みで、鬼怒川・小貝川の流域24市町と茨城県、栃木県、国土交通省下館河川事務所などで構成する「鬼怒川・小貝川流域ネットワーク会議」が主催。今年で28回目を迎えました。



堤防沿いに親子でゴミ拾い(横根地区若草子供会)



拾ったごみをまとめる参加者たち(小貝川右岸・横根地区)

支援体制の確立 問 消防交通課 ☎43-2119 FAX43-4214

## 茨城県行政書士会と下妻市が「災害時における支援協力に関する協定」締結



協定を締結した左から菊池市長、国井会長

茨城県行政書士会・国井豊会長と下妻市・菊池市長は7月23日、市長公室において災害時における支援協力に関する協定を締結しました。協定の内容は、被災した市民の生活再建に向けた相談業務などを行うもの。この協定により円滑な被災者支援の実施が期待され、いざというときの市民の安全・安心への更なる大きな備えとなりました。

防犯啓発 問 消防交通課 ☎43-8309 FAX43-4214

## 高校生らがSNS犯罪被害防止活動

7月18日、関東鉄道常総線下妻駅の西口で、下妻警察署と下妻地区防犯協会は防犯抑止活動の一環としてSNS(ソーシャルネットワークサービス)に起因する非行や犯罪被害防止に向けた街頭キャンペーンを行いました。下妻一高と二高の生徒約45人が参加して、両校の生徒が下車する朝の通学時に有害サイトの接続や二重電話詐欺への注意を喚起するチラシと啓発品を手渡し、被害防止などを呼び掛けました。



通学者などに呼び掛ける参加者たち

地域活性化 問 市民協働課 ☎43-2114 FAX43-1960

## 宝くじ助成事業でコミュニティ活動を推進 平方自治会



整備された山車、太鼓で祭囃子を演奏する平方はやし保存会

平方自治会に、平成30年度宝くじの助成を受けて山車の台車や太鼓などの祭事用品が整備されました。

7月14日に開催された夏祭りでは、新しい台車に乗った山車を子どもたちが引き、新調された太鼓や鼓を平方はやし保存会の皆さんが演奏しながら町内を練り歩きました。

地域の住民の方からは「山車の台車や、太鼓が新しくなり、これまで以上に立派な夏祭りになりました」と喜びの声が聞かれました。

この助成は、宝くじの社会貢献広報事業としてコミュニティ活動に必要な施設や備品を整備するために行われるもので、平方自治会では今後も、地域の伝統行事を守りながら、後継者育成や住民間の交流を深めるなど、より一層の地域活性化が期待されます。

有料広告欄

有料広告欄